

## 淀川区教育行政連絡会「小学校の部」議事要旨

日 時 平成 29 年 2 月 6 日（月） 10：00～11：50

場 所 淀川区役所 5 階 504 会議室

出席者 学校長：新東三国 東三国 北中島 宮原 西三国 三国 西中島  
木川 木川南 十三 神津 塚本 田川 加島

区役所：淀川区長 教育支援担当課長 教育支援担当課長代理 教育支援担当係長（2名）  
教育支援担当係員

有識者：淀川図書館長、学校図書館補助員コーディネーター

傍 聴：0 人

資料 1 学校図書館開放状況

資料 2－1 H28 運営の計画 取組反映状況一覧<学校への関心>

資料 2－2 H28 運営の計画 取組反映状況一覧<睡眠>

資料 2－3 第 7 回総合教育会議資料

資料 2－4 H28 第 2 回 学校協議会委員研修 事前課題/  
事前課題をもとに受講者が検討した問題点と解決策

資料 3－1 全国学力・学習状況調査 取組の実施状況 アンケート集計結果

資料 3－2 H29.1 月校長会における指導部からの説明内容

資料 4－1 全国体力・運動能力・運動習慣等調査 取組の実施状況 アンケート集計結果

資料 4－2 H28「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」大阪市の概要

資料 5 防災スピーカー活用の検討

### 【次第】

司会：教育支援担当課長

◎区長あいさつ

◎議題

《1 学校図書館開放について》【公開】

《2 平成 29 年度運営の計画について》【公開】

《3 学力・体力向上のための取組について》【公開】

《4 防災無線スピーカーの活用について》【公開】

《5 その他》【公開】

- ・説明：区長、教育支援担当
- ・各議題について意見交換

## 議題1 学校図書館開放について

### (区より説明)

・学校図書館の開放回数は、大阪市教育委員会から、共通の目標を設定されている。28年度は週7回開館、29年度末までには週7回かつ毎日開館、というもの。

### (意見交換)

○補助員が来るようになってから子ども達の読書量が増えた。

○昼休みは子ども達が開放しているが、補助員など図書に詳しい大人や大学生にいてほしい。

⇒大学への働きかけは区としても行っている状況。

○学校協議会委員経由で、大学生の派遣を依頼している。来年度は放課後の図書館開館しながら、子ども達を見てもらうことを考えている。他校でも希望があれば打診していきたい。

○開館回数を増やすにはボランティアが足りないので探してほしい。

⇒区役所でもホームページやよどマガでボランティア募集するなど、区民の方にアピールしている。

○補助員の勤務日を増やしてほしい。

⇒予算の制約がある。学校図書館や補助員への予算確保のためにも、学校で把握している来館者数などの数字があれば、それを効果把握のために示していくことが大事。

### (淀川図書館長より説明)

・ボランティアの募集については、区役所もホームページや広報誌で広く周知するほか、育成については、淀川図書館も区役所と連携してボランティア育成講座をしている。それでもなかなか集まらない状況。多くの参加者が集まるようにPTAや地域に広く周知していただきたい。

・移動図書館は現在の予算の範囲内ではフル稼働している状態。訪問先を増やすのは難しい。

## 議題2 平成29年度運営の計画について

### (区より説明)

・H28は区から、全校で取り組むべき内容として、「学校への関心を高める取組」「睡眠習慣改善の取組」を各校の運営の計画に盛り込んでいただくよう依頼した。

・市全体の方向性について。現在、大阪市総合教育会議では、次期教育振興基本計画に沿って、学校評価の仕組みの修正が議論されている。市の統一目標「安全安心な教育環境」、「学力・体力の向上」に向けて、指標を統一し、客観的な評価をしていく、という方向に向かっていると思う。

・合わせて、学校独自の目標設定も継続する。学校協議会での個別評価も継続する。

・次期計画の方針と合わせて、運営の計画の目標、指標についても、定量化、数値化がより求められてくるだろう。

### (意見交換)

○「学校の関心を高める取組」について。本校では、保護者にどういう情報をホームページに求めるかヒアして、掲載する情報を再考した。インフルエンザの状況や、遠足の持ち物、登校時間の変更を載せるとアクセスが1日300件となるほど増え、学校への電話の問い合わせが減った。

### 議題3 学力・体力向上のための取組について

#### (区より説明)

- ・全国学力調査について、文科省から授業を圧迫するほどの過度な対策についての指摘があった。
- ・市教育委員会の見解は、過度にならない範囲で調査問題は良問であり、その形式に一度触れておくことは必要というもの。
- ・区としても、市教委と同じく、子どもが実力を発揮できるように一度慣れておくことは必要だと考える。
- ・学力、体力調査で得られる結果データについては、年度による母数集団の変更による差があるとは言え、学校の取組がどのような結果につながったかを経年的にみていける点で重要。データを活用した、課題設定力、立案能力がより求められてくる。

#### (意見交換)

- 本校では、問題形式に慣れるため事前に類似問題を解かせたが、子どもたちは本番で落ち着いてできなかったと思う。辞書引き、読書、言語力向上の取組をしている。
  - 読解力が重視される問題もあるので読書への取組、研究として問題文章の読解力をつけようとした。
  - 視覚に残る板書を心がけている。話し合い活動にも力を入れている。
  - 全国体力調査の結果提出が7月なので、6月の実施までに求められる力について強化できるよう指導している。遊具を使った基礎トレーニングをしている。
  - ボール運動ができるように、公園フェンスの整備を検討してほしい。
- ⇒整備は他区で試行中。淀川区でも今後試験整備を経て、本格的に実施される予定。

### 議題4 防災無線スピーカーの活用について

#### (区より説明)

- ・実施主体は「淀川区役所」と「区内小学校」の並列とする。
- ・役割分担について。校長が地域の了承を得る。区役所は広報誌で周知する。試行実施の校区で地域への了承を取ってから、その地域で開始。1校の試行実施と並行して全校への試行実施への了承を得る。
- ・3月から4月で区内1校の試行実施、5月から区内全域で試行実施、7月から本格実施の予定。
- ・長期的に区全体に広げていくべき取組。

### 議題5 その他

#### (区より説明)

- ・関西ジュニアスポーツ能力開発協会からTAP体操の提案、発表がある。
- ・学校だけではなく、民間の力、学校体育施設開放事業、市民の力も使って総合的に子ども達の体力向上に取り組む。
- ・淀川区と関西ジュニアスポーツ能力開発協会は協定を締結し、連携して子どもの体力向上に取り組んできた。今回同協会のスポーツの専門家が体力向上のための準備体操のプログラムを作りたいという発案があった。
- ・学校が取り入れやすい形を学校からもアドバイスをいただき、プログラムを作った。

- ・ 数種類の 1 回 3 ～ 4 分の準備体操の映像を見てまねることで子ども達と一緒にできる。
- ・ 2 月 1 5 日の体育主任会の前に披露する。

**(意見交換)**

○運動分野別、難易度別の DVD は、体育の授業で活用できると考えている。体育主任会では研修会の前に準備体操として集まった先生方にやっていただく。